

令和 4(2022)年目黒会首都圏総支部総会

令和 4 年(2022 年)7 月 23 日

議事

- 第 1 号議案： 令和 3(2021)年度の活動報告、会計報告および監査報告
第 2 号議案： 令和 4(2022)年度活動計画および予算
第 3 号議案： 役員および役割分担について

第 1 号議案：令和 3(2021)年度の活動報告、会計報告および監査報告

■活動報告

会員の皆様には様々な形で首都圏総支部にご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

首都圏総支部は、2005 年 9 月 24 日に創設され、現在東京、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川県、山梨、新潟の 1 都 8 県在住の会員約 2 万人(内、正会員約 6 千人)を対象に活動を行っております。

2021 年度は会員の安全と健康を第一にしつつ会員間の親睦を深める方針から新型コロナウイルスへの感染防止のため役員会および総会、秋の交流会、母校の桜を見る会をすべてオンラインで開催してまいりました。年度全体ではのべ 115 名の方に参加を頂きましたこと、皆様のご支援とご協力にあらためて感謝申し上げます。

オンライン式会議は今まで様々な事情で直接参加ができなかった方の参加や国内の他支部、海外支部からも参加できるというメリットがあり、会議システムの技術的改良もされてはいるものの、対面式でないと補えない面も感じられるようになってきました。2022 年度はコロナの対策を含めた状況を注意しつつ対面式も取り入れた活動を安全に行っていくことが課題です。

新しい技術で試練を克服し進歩・革新の歴史を築いてきた本学の伝統的精神を尊重し、私たちも新しい方法を取り入れながら会員間の相互交流、相互支援、相互発展を目指したいと存じます。会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

役員任期中に逝去されました故杉山光裕幹事(初代総支部長)、故江尻貞明幹事の生前の目黒会活動へのご貢献に敬意をもって感謝し、哀悼の意を表します。

1. 2021 年首都圏総支部総会 (2021 年 7 月 10 日 (土))

2020 年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2021 年の年度初めの時点でも東京都の緊急事態宣言が解けていない状態が続いたため、首都圏総支部総会・講演会は、2020 年 9 月開催と同様、Web ツールを使用したオンライン会議の形態で、7 月 10 日 (土) に開催されました。ご来賓ご講演者をはじめ、国内外 6 支部から 8 名、首都圏総支部会員 47 名の参加を得、総数 58 名の参加を頂きました。

総会では竹田智彦総支部長が議長を、宮澤信一郎副総支部長、渡辺和典幹事が書記を務め、前年度の活動報告、会計報告および監査報告、今年度の活動計画および予算、役員および役割分担について審議され、承認決議されました。

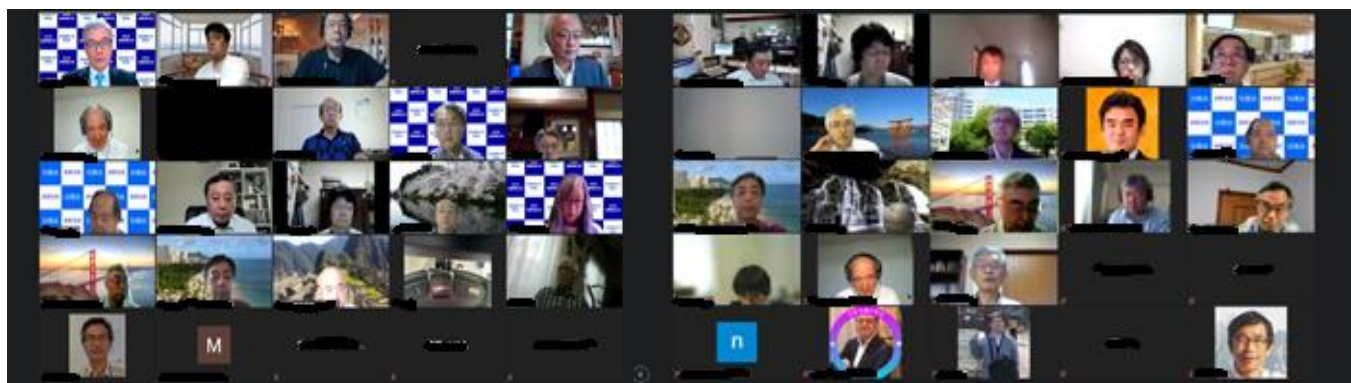
総会后、大学側のご来賓として理事(研究・産学官連携担当)の小花貞夫様からご挨拶があり、資料を元に、大学側の体制、UEC ビジョン、D.C.&I 戦略と具体的活動、新型コロナ対応などのお話を頂きました。また、目黒会からは会長大家万明様よりご挨拶があり、資料を元に、目黒会の活動方針などについてお話を頂きました。

特別講演では、2005 年、量子・物質工学科物理コース卒業で、現在株式会社 Lily Medtech 代表取締役の東志保様より、『医療機器ベンチャーの上市までの道のり』という講演題目で、製品である乳房用超音波画像診断装置の開発に至る経緯、コンセプト、乳がん治療の現状と課題、起業までの経緯、製品のコア技術、試作から製品化に至る道のりなどについて講演をして頂きました。ベンチャー企業の経営者としての課題などについてもお話し頂きました。

質疑応答では、昨年11月の首都圏総支部秋の交流会で講演をして頂いた埼玉医科大学名誉教授馬場一憲様より、産科婦人科超音波診断の分野を牽引して来られた立場から医療従事者同士ならではの感想、質問を伺い意見交換を行う事ができました。参加者からの意見、質問はチャットなどで頂き、その場で東様にお答え頂きました。

超音波診断装置のコア技術を武器に、医療機器ベンチャーを起業し、試作機の開発からデザインまでを自社で行ない、資金調達、医療機器認証の取得に至るまでを進めて来られた東様に対し、参加者から同窓生として、若手の今日的とも言える活躍ぶりに、期待と応援の声を頂けたと思います。

その後、オンライン懇親会を飲食物は各自準備という形で行いました。水戸和幸副総支部長の司会で進められ、竹田智彦総支部長が参加して頂いた国内外各支部のかたがたを紹介し、一言ずつご挨拶を頂きました。宮澤信一郎副総支部長の音頭で乾杯を行なった後、ゲストと語り合う部屋、音楽好きの部屋、無線の部屋、物流・ロジについて語る部屋、海外の部屋など分科会に分かれて歓談しました。最後にZOOMの全体会に全員戻って、傘義冬顧問が中締めを行いお開きとなりました。



2021年首都圏総支部総会



東志保様



懇親会(分科会)

2. 「秋の交流会」「首都圏北部地区分会総会」(2021年11月6日(土))

首都圏総支部では、11月6日(土)午後、秋の交流会ならびに首都圏北部地区分会総会を開催しました。7月10日(土)の首都圏総支部総会と同様、Zoomによるリモート参加の形式で行いました。当日は、まず北部地区分会の総会を開催し、続いて秋の交流会、そして懇親会という次第でした。出席者は、北部地区分会総会が合計26名(分会構成員10名、オブザーバー16名)、秋の交流会も合計26名(首都圏総支部24名、関西総支部および九州支部各1名)でした。

北部地区分会総会は、山崎成分会長のあいさつで開始となりました。議長を山崎成分会長が、書記を宮澤信一郎副分会長および増田悦夫幹事がそれぞれ務めました。議長より、第1号議案の前年度活動報告お

よび会計報告、第2号議案の今年度活動計画および予算、さらに第3号議案の役員および役割分担についての説明がなされ、審議の結果、提案通り承認されました。

続いて、首都圏総支部の竹田智彦総支部長が挨拶に立ち、北部地区分会の活動への期待、故杉山光裕幹事(初代総支部長)へのお悔やみとともに、首都圏総支部として今後正会員ならびにメール登録者数を増やしていこうとの呼びかけがなされました。

その後、秋の交流会イベントである特別講演へ移行しました。増田悦夫幹事の司会の下、今回は、株式会社フレームワークスのエグゼクティブコンサルタントである後藤一孝様(注:1979年経営工学科入学)より、『電通大からロジスティクス・コンサルタントへ-その経緯とロジスティクス人財の重要性-』という題目でご講演いただきました。講演では、沖電気工業時代の営業活動、生産技術のノウハウ、経験がコンサルタント業務に役立ったこと、取り組み事例の紹介や業務を通して分かった日本の物流・ロジスティクスの実態、関連する人財やそれを育成する教育機関の不足などが熱く語られました。参加者より出された質問は件数の都合などから次の懇親会へ回し、まとめて回答いただくこととなりました。

休憩の後、宮澤信一郎副総支部長の進行の下、今井高介顧問(注:現長野支部長)の乾杯の音頭でオンライン懇親会が開始となりました。懇親会には特別講演をされた後藤一孝様をはじめ20名近くが参加しました。まず、後藤様より順に全員が自己紹介を含むひとことスピーチを行いました。目黒会の大家万明会長にも飛び入りでご参加いただき、自己紹介ならびに会長としてお言葉をいただきました。その後、特別講演の時と懇親会で新たに出された質問に対し後藤様より体験に基づく丁寧な回答をいただきました。参加者の中には物流関連の経験者が数名含まれ有意義な懇親会となりました。歓談後、傘義冬顧問(注:第2代総支部長)の中締めの挨拶で閉会しました。



2021年秋の交流会・北部地区分会総会



後藤一孝様

3. 母校の桜を見る会(2022年4月16日(土))

2022年4月16日(土)に、今年も12回目の母校の桜を見る会を開催することができました。今回も地方・海外各支部会員にお声掛けしてご参加頂くことができ、各地の桜自慢で会を大いに盛り上げて頂きました。首都圏及び北海道、東北、長野、東海、九州、米国から事前申し込みで37名、当日31名のご参加を頂きました。今回、元学長の有山正孝先生もご出席くださいました。

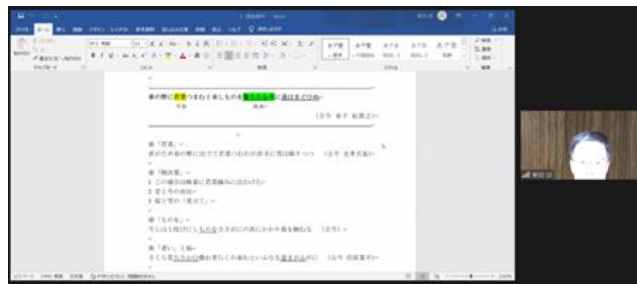
はじめに竹田首都圏総支部長から挨拶とこれまでの会の歩みを簡単に紹介して桜を見る会を開会しました。前半では今年の調布市内の桜や学内の桜の映像を眺めつつ、参加者各位からのご当地の桜や花の紹介を頂きました。臨場感溢れる映像や、昭和30年卒業の先輩から伺った学内の桜の由来、日本全国の桜など今年度も非常に充実した内容となりました。

今年は後半にミニ講演会の場を設け、電気通信大学共通教育部准教授 栗田 岳 先生から『古典和歌の「幻視の桜」』をテーマに、春と花に因んだご講演をして頂きました。大変興味深いお話をして頂き、質疑応答の部でも多くの参加者から熱心な質問や感想が飛び交い盛況となりました。

今年もオンラインでの開催となったこの母校の桜を見る会ですが、来年こそコロナ禍が収束し会場を母校に戻しての開催ができることを祈念しております。来年も皆様のご出席をお待ちしております。



会の様子



栗田先生のご講演

4. 役員会

①2021年4月10日(土)、②5月8日(土)、③6月26日(土)、④8月28日(土)、⑤10月23日(土)、⑥11月27日(土)、⑦2022年1月15日(土)、⑧2月26日(土) の8回開催しました。いずれも新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン会議を採用しました。

■令和3年度会計報告および監査報告

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：円）

No.	項目	収入	支出	残高	備考（実績）
1	前期繰越金	297,728		297,728	
2	総会・他支部との交流	30,000	10,000	317,728	収入:助成金 30,000円 支出:東志保様講演謝礼 10,000円
3	北部地区分会		20,000	297,728	目黒会本部の支援金制度によるもののうち北部地区分会への支援金
4	秋の交流会			297,728	2021年11月6日オンラインにて開催 ZOOM代は役員会に含む
5	桜を見る会			297,728	2022年4月16日オンラインにて開催
6	目黒会支部支援金	110,000		407,728	総会:50,000円(参加人数47名)、 北部地区分会 20,000円 桜を見る会:20,000円、役員会(8回) 20,000円
7	雑収入			407,728	
8	役員会		22,000	385,728	ZOOM利用料(21/4-6,8,10-12, 22/1-3月分 10ヶ月分)
9	交通費補助			385,728	
10	受取利息	2		385,730	利息(8月14日 1円、2月12日 1円)
11	諸雑費		550	385,180	北部地区分会支援金振込手数料 110円 東志保様講演料振込手数料:440円
12	合計	437,730	52,550	385,180	通帳残高と一致(2022.6.1)

監査報告： 2022年7月10日に監査を実施し適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

監査担当 渡辺 一夫

第2号議案：令和4(2022)年度活動計画および予算**■基本方針** ～ 会員間の相互交流、相互支援、相互発展の促進 ～

1. 分会活動の推進：都心での活動に参加しにくい地域での活動展開、北部地区分会の活動拡大を目指します。(そのための人的ネットワークづくり、幹部人財の発掘・育成、インフラ整備)
2. 青年層・現役世代のネットワーク醸成・強化・活用：連帯感とともに目黒会としてのメリットが感じられる活動の展開をめざします。
3. 家族ぐるみ、友人知人も参加できる暖かくオープンな活動を目指します。

■活動計画

新型コロナウイルス感染防止、会員の安全と健康を第一にしつつ、会員間の親睦を深めるべく、以下の3点に留意し活動を展開していきます。

- 1) 機関会議(総会、役員会)は状況に応じて適宜オンライン方式など方法を選択し実施します。
- 2) 外出自粛状況でも会員間の交流を深耕、拡大可能な場を提供致します。
- 3) 入会后10年以下の会員とのコンタクトの機会を増やします。

No.	活動項目	概要	備考
1	首都圏総支部総会	7月23日(土)15:00-18:00	
2	秋の交流会	11月5日(土)15:00-	長野支部合流も検討
3	母校の桜を見る会	2023年3月下旬～4月上旬	
4	北部地区分会総会	11月5日(土)秋の交流会と同時開催	
5	役員会 原則 15:00-17:00	2022年4月9日(土)、5月7日(土) 7月15日(金)、8月27日(土) 10月22日(土)、11月26日(土) 2023年1月14日(土)、2月25日(土)	

■予算計画

毎年の各交流会の開催は、都度参加費で極力まかなうこととしますが令和3年度の繰越金 385,180 円は、各交流会等で不足分がある場合に使用することとします。今年度は、昨年につき招待講演、演奏などの費用や、会議・イベントの会場費、オンライン会議システム使用料等への補充を致します。

目黒会の支部支援金制度も活用しつつ分会活動も含め、支部組織の目的である会員間の交流を通じた「会員の満足度」を高める一助としての活用を考えていきます。

令和4年度予算計画

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
(単位：円)

No.	項目	収入	支出	備考
1	前期繰越金	385,180		
2	総会・他支部との交流	30,000	30,000	※対面・リモート併用 収入 助成金 30,000円 支出 講演謝礼 10,000円 コピー代、懇談会補助他 20,000円
3	北部地区分会		20,000	目黒会本部の支援金制度によるもののうち 北部地区分会への支援金
4	秋の交流会	160,000	190,000	※対面を想定 収入 会費 10,000円×16人 160,000円、 支出 宿泊代 160,000円、 謝礼他その他経費 30,000円
5	桜を見る会	60,000	80,000	2023年開催予定 ※対面を想定 収入 会費 3,000円×20人 60,000円、 支出 謝礼その他経費 80,000円
6	目黒会支部支援金	120,000		目黒会本部の支援金制度によるもの 内訳 総会 60,000円、北部地区分会20,000円、 役員会20,000円、その他活動 20,000円
7	雑収入	0		
8	役員会		26,400	※対面開催でも、リモート併用 オンライン会議システム使用料 (Zoom) 2,200円×12カ月(4月～3月) 26,400円
9	交通費補助		80,000	役員会参加者への交通費補助
10	受取利息	0		
11	合計	755,180	426,400	

※次年度への繰り越し予定

328,780 円

第3号議案：役員および役割分担について

・役員および役割分担は以下の通りと致します。

1) 新任幹事として、

大島成喜(おおしま しげき)さん (2003年 電子工学科入学)

島崎俊介(しまざき としゆき)さん (2008年 情報通信工学科入学)

が加わって下さいます。

2) 支部代表代議員は副総支部長 宮澤信一郎さんと致します。

(任期は2023年4月1日～2025年3月31日)

注) 2019年度より、入学年(西暦)、学科名(日本語)で会員管理をしています。(入学年がわからないときは卒年を表記)

No.	役職	氏名	入学年・学科	備考	目黒会
1	総支部長	竹田 智彦	1978 電子工学科		業務執行理事
2	副総支部長	水戸 和幸	1995 電子情報学科(3年次編入)	HP担当	専務理事
3	副総支部長	山崎 成	1978 機械工学科	北部地区分会 分会長	
4	副総支部長	宮澤信一郎	2000 情報システム運用学専攻	北部地区分会 副分会長	支部代表代議員
5	副総支部長	細井 淳司	1992 電子情報学科	北部地区分会 会計	代議員
6	会計担当	中里 明子	1981 機械工学第二学科	HP担当	理事、代議員
7	監査担当	渡辺 一夫	1973 電子計算機学科		代議員
8	監査担当	小出 昌寿	1988 電子情報学科		
9	幹事	篠原 力	1964 電子工学科	OER 気楽な会	
10	幹事	岩本 茂子	1971 電子計算機学科	組織担当	代議員
11	幹事	増田 悦夫	1971 電子計算機学科	北部地区分会幹事	
12	幹事	西野 幸博	1975 材料科学科		
13	幹事	來住 直人	1978 応用電子工学科		
14	幹事	久間由利子	1979 機械工学科	組織担当	
15	幹事	渡辺 和典	2003 システム工学科		代議員
16	幹事	岡村 衡	2008 量子・物質工学科		
17	幹事	大島 成喜	2003 電子工学科	新任	
18	幹事	島崎 俊介	2008 情報通信工学科	新任	理事
19	顧問	今井 高介	1971 電子計算機学科	長野支部長	
20	顧問	傘 義冬	1971 電子計算機学科		

以上 第1号議案から第3号議案のご確認とご承認をお願い致します。